

今週3回分は「名詞の性別」について説明する。

ウクライナ語の名詞は、男性、中性、女性の3つに分類され、その中でも単数と複数があり、6種類の分類が存在する。

まずは単数形から。主な例外から挙げたのち、原則のものを挙げた。表にない例外は随時紹介する。

男性名詞	中性名詞	女性名詞
語尾が <b>о</b> の単語のうち、男性の親族を表すもの	語尾が <b>я</b> の単語のうち、動物のこともを表すもの	<b>мати</b> (母)
その他語尾が子音字または <b>ь</b> のもの	その他語尾が <b>е</b> または <b>о</b> のもの	その他語尾が <b>а</b> または <b>я</b> のもの

ここで各性別の一例を示す。

男性名詞	中性名詞	女性名詞
<b>батько</b> (父)	<b>кошеня</b> (子猫)	<b>тітка</b> (おば)
<b>дядько</b> (おじ)	<b>фото</b> (写真)	<b>риба</b> (魚)
<b>хліб</b> (パン)	<b>яблуко</b> (りんご)	<b>піца</b> (ピザ)
<b>мед</b> (ハチミツ)	<b>місто</b> (都市)	<b>Україна</b> (ウクライナ)
<b>сік</b> (ジュース)	<b>яйце</b> (卵)	<b>Японія</b> (日本)

複数形(主格)は、中性名詞以外は語尾を **и** に、中性名詞は単数の語尾が **я** なら **ята** に、**о** なら **а** に、**е** なら **я** に変える。

ここで例文。全て「私の」を使った文である。

- Це мій кіт. (これは私の猫だ。)
- Де моя риба? (私の魚はどこ?)
- Моє фото тут. (私の写真はここにある。)
- Це не мої яблука. (これは私のリンゴ(複数)ではない。)

このように、所有格は名詞の性別で形が変わる。ただし複数形は性別にかかわらず мої である。また、це の複数形として ці という単語があるが、複数形になっている単語が主語か目的語かによって区別される。この例文は目的語が複数形なので、「私の」に対応する複数形である мої をとる。

#### ◇単語集

単語	意味
вечеря	夕食
грати	プレイすること
зараз	今
немає	～はそこにはない
обід	昼食
писати	書くこと
сніданок	朝食
чи	または
читати	読むこと

次は数字。数字も一部で名詞の性別によって変わる。ここには40までを紹介する。50以降は必要になり次第適宜紹介する。

数字	男性名詞	中性名詞	女性名詞
1	один	одне	одна
2	два		дві
3	три		
4	чотири		
5	п'ять		
6	шість		
7	сім		
8	вісім		
9	дев'ять		
10	десять		
11	одинадцять		
12	дванадцять		
13～19	-надцять(14は語尾の и を、15, 16 と 19は語尾の ь を取ってこれを付ける)		
20	двадцять		
30	тридцять		
40	сорок		

24は20+4、36は30+6という要領で組み立てる。

今週3回分は「名詞の性別」について説明する。今回は対格。

対格とは英語でいう目的格に相当する格変化のこと。日本語では、「～を」に相当する。基本的に格変化は語尾を変えるだけでよいので、あまり考えるほどのものでもない。

まずは男性名詞。男性名詞単数形の対格は基本的に主格と同じ形であるが、**o**で終わるものは**o**を**a**に変える。また、複数形については語尾が子音字なら語尾に**iv**をつけ、**o**なら**iv**に変える。例外は必要になり次第適宜紹介する。

例文(太字部分が対格である。)

- Я їм **хліб**. (私はパンを食べる。)
- Ти любиш твого **тата**? (君はパパが好き?)

次は中性名詞。中性名詞の対格は、単数、複数ともに例外なく主格と同じ形である。

例文(太字部分が対格である。)

- Я не їм **яблука**. (私はリンゴ(複数)を食べない。)
- Кіт п'є **молоко**. (猫は牛乳を飲む。)

最後は女性名詞。女性名詞の対格は以下の変化をする。

- ・ 単数形するとき … 主格の語尾が **а** なら **у**、**я** なら **ю** に変える。
- ・ 複数形するとき … 主格の語尾が **и** ならそのままか **и** を取り、**і** ならそのままか **і** を取るか **ь** に変え、**ї** ならそのままか **й** に変える。

例文(太字部分が対格である。)

- ・ **Я хочу їсти піцу.** (私はピザを食べたい。)
- ・ **Я ношу цю спідницю.** (私はそのスカートを身に着けている。)

※スカート: спідниця

これらをまとめると、対格の語尾は下表のようになる。(太字は複数形, **ята** は不変、 $\emptyset$  は子音字終わりを指す。)

語尾	男性	中性	女性
а	/	<b>а</b>	у
е	/	е	/
и	<b>и/ів</b>	/	<b>и/∅</b>
і	<b>і/ів</b>	/	<b>і/ь/∅</b>
ї	<b>ї/їв</b>	/	<b>ї/й</b>

語尾	男性	中性	女性
й	й/я	/	/
о	а	о	/
ь	ь	/	ь/я
я	/	я	ю
∅	∅	/	/

## ◇単語集

単語	意味
апельсин	オレンジ(果物)
брат	兄、弟
давати	与える
додаток	アプリケーション
забути	忘れる
історія	歴史
квітень	卯月(英: april)
купити	買う
пам'ятати	覚えておく
сестра	姉、妹
старий	古い
тисяча	1000
хобі	趣味
ще	もっと

今週3回分は「名詞の性別」について説明する。今回は属格。

属格は英語でいうところの所有格に相当する格であるが、ウクライナ語では三人称以外で所有格と属格は異なる格である。日本語の、「～の」に相当する。

まずは男性名詞。男性名詞の属格は単数主格の語尾が子音字なら **a** か **y** を付け、**ь** か **й** なら **я** か **ю** に変える。複数形は主格の語尾が **i** なら **iv** に、それ以外なら **iv** に変える。例外は必要になり次第適宜紹介する。

例文(太字部分が属格である。)

- Мені **чотирнадцять років**. (私は14歳だ。)
- Її **тата** звали Кен. (彼女のパパの名前はケンだ。)

次は中性名詞。中性名詞の属格は単数主格の語尾が **o** なら **a** に、**e** なら **a** か **я** に変え、**я** ならそのまま。複数形は主格の語尾が **a** なら **a** を取り、**я** なら **ь** に変えるか **я** を取る。例外は必要になり次第適宜紹介する。

例文(太字部分が属格である。)

- Тут **п'ять яєць**. (ここに卵が5個ある。)
- **Немає яблук**. (リンゴはない。)

次は女性名詞。女性名詞の属格は単数主格の語尾が **а** なら **и** か **і** に、**я** なら **і** か **ї** に変える。複数形は主格の語尾が **и** なら **и** を取り、**і** なら **ь** に変えるか **і** を取り、**ї** なら **й** に変える。例外は必要になり次第適宜紹介する。

例文(太字部分が属格である。)

- Це коштує сорок **гривень**. (それに 40 フリヴニヤかかった。)
- Тут **п'ять студенток**. (ここに女性の生徒が 5 人いる。)

このように数字に関わる場合に属格化することが多い。具体的には下 2 桁が 5~20 及び 25 以降の 1 の位が 5~0 のときにこの形になる。

最後に人称代名詞。対格のときに説明できていなかったのここでも対格とまとめて説明する。人称代名詞の対格と属格はそれぞれがほとんど同じ形である。詳細は次ページの表を参照。

「私は~を持っている」というときに使う **У мене є** は、**мене** の部分が属格である。

例文(太字部分が属格である。)

- **У мене є сестра**. (私には姉(or 妹)がいる。)
- **Моя тітка теж його тітка**. (私のおばさんは彼のおばさんでもある。)

人称代名詞の属格・対格(三単=三人称単数)

人称	主格	属格	対格
一単	я	мене	мене
二単	ти	тебе	тебе
三単	він	його/нього	його
	вона	її/неї	її
	воно	його/нього	його
一複	ми	нас	нас
二複	ви	вас	вас
三複	вони	їх/них	їх/них

◇単語集 今回は猫、リンゴ、魚の格変化も用意した。

単語	意味
але	しかし
дідусь	おじいさん
знати	知る
море	海
так собі	まあまあ
чоботи	ブーツ

## кіт(オス猫)

	主格	属格	対格
単数	кіт	кота	кіт
複数	коти	котів	котів

## яблуко(リンゴ)

	主格	属格	対格
単数	яблуко	яблука	яблуко
複数	яблука	яблук	яблука

## риба(魚)

	主格	属格	対格
単数	риба	риби	рибу
複数	риби	риб	риб